

大阪都市魅力創造戦略

主要プロジェクトの成果と課題

◆世界の都市間競争に打ち勝つ都市魅力創造の基盤づくり

・水と光のまちづくり推進	2
・大阪にふさわしい文化行政の展開	6
・大阪観光局を創設しスピード感ある戦略的・挑戦的な取組みを推進	7
・大阪城・大手前・森之宮地区	9
・中之島ミュージアムアイランド構想	12
・天王寺・阿倍野地区	15
・御堂筋フェスティバルモール化	16
・築港・ベイエリア地区	19
・万博記念公園南側ゾーンへの複合型エンターテインメント施設の立地促進	22
・百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録に向けた取組みの推進	23
・生駒山系花屏風の整備	24
・みどりの風を感じる大都市・大阪の実現	25
・その他の取組み	26

◆感動や興奮に出会える効果的なイベントの展開

・大規模スポーツイベント	27
・2015シンボルイヤーに向けた2014の取組み	29
・2015シンボルイヤーイベント	30

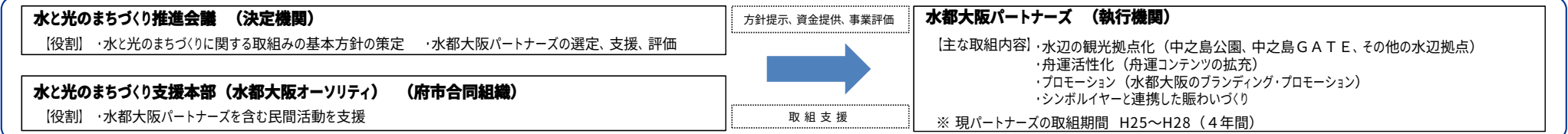
◆ターゲットに響く戦略的なプロモーション

・大阪の国際化戦略アクションプログラム	32
・アジアをターゲットとした観光プロモーション等	33
・大阪ミュージアム構想	34
・おおさかカンヴァス推進事業	36
・地域資源を活かした大阪の魅力発信	37

～水と光のまちづくり推進～

＜推進体制の構築＞

- ◇民間と行政のパートナーシップのもとで新たな展開を図るため、府、市、経済団体等で構成する「水と光のまちづくり推進会議」を設置
- ◇同会議のもと民主導の都市魅力創造・まちづくりの推進を担う「水都大阪パートナーズ」を組織
- ◇その活動を支援するため、大阪府・大阪市合同組織「水と光のまちづくり支援本部（水都大阪オーソリティ）」を設置



＜水辺の魅力向上＞

◇「水と光の首都大阪」の実現に向け、水の回廊を中心にみどり調和した空間づくりを推進

○水辺の景観形成に向けた整備内容（主なもの）

- ①とんぼりパーウォーク完成 [H24]
- ②西天満若松浜に中之島にぎわいの森づくりの一環として推進してきた水辺拠点が完成 [H25]
- ③堂島川右岸（銚流橋～天神橋）の遊歩道と水辺緑化が完成 [H25、H26]
- ④中之島GATEに新たな水辺拠点が完成 [H26] ※ 暫定OPEN
- ⑤本町橋船着場完成 [H27]
- ⑥Taisho リバ・ビレッジが新たな水辺拠点として完成 [H27] ※ 暫定OPEN
- ⑦木津川（立売堀）の遊歩空間整備中 [H27完成予定]



＜水辺の賑わい創出＞

◇水辺拠点への民間活力の投入促進や各種イベント等の実施により水辺に賑わいを創出

○水辺の賑わいづくり（主なもの）

- ◆水都大阪パートナーズによる取組み
 - ・“水都大阪2009”で培ったノウハウ・ネットワークの継続、継承、発展を図るため「水都大阪フェス」を開催 [H25]
参考：H24以前は、水都賑わい創出実行委員会がフェスを運営
 - ・中之島公園で、オープンテラスやグリーンマーケットなどを開催 [H26・H27]
※水辺における日常的な賑わい創出に向け、公共空間（公園・道路）の長期間占用に向けた社会実験として実施
 - ・中之島GATEで、招聘した劇団による野外演劇の実施や船着場を活用し舟運クルーズを実施 [H26]
中之島GATEに賑わい施設を誘致 [H26]



- ◆水都大阪2015 [実施主体：水と光のまちづくり推進会議]
 - ・2015年シンボルイヤープログラム「水都大阪2015」を展開中 [H27]
 - ・8月には、道頓堀周辺で、オープニングイベント及び水と光のウォーターショー（大阪水龍）の企画を実施
新たな水辺拠点“中之島GATE”を会場に、その他拠点とも船でつなぐなど水都の魅力を体感する企画、大阪大発見！「水都村ビッグ盆」を展開
・秋に向けての企画も準備中
※機運醸成を図るため、水都大阪2015のコアとなる企画を昨年度プレ実施



- ◆中之島にぎわいの森づくり（有名アーティストとのコラボレーション企画） [実施主体：大阪府]
 - ・シンボルツリープロジェクト [H22～H25]
水辺の回遊性向上に向け堂島川沿いの船着場に有名アーティストとコラボレーションツリー（中之島にぎわいの森シンボルツリー）を植樹
あわせてイルミネーションの点灯イベントを開催
 - ・オープニングイベント [H25]
西天満若松浜に整備した水辺拠点のOPENを記念したイベントを開催



【水辺魅力の広がり状況】

舟運事業利用者数 H23 約35万人 ⇒ H26年度 約60万人
船着場（船寄場）数 H23 21箇所 ⇒ H27.6月時点 24箇所
主な水辺拠点の拡大 3拠点OPEN
(西天満若松浜 [H25]、中之島GATE [H26]、Taisho リバ・ビレッジ [H27])
水辺の遊歩道 桜之宮（桜宮橋）から御堂筋直近（水晶橋）までの間について、
(大川・堂島川右岸) 水辺での往来が可能となった。

【賑わい向上の状況】 各種取組みにおける来場者数等

	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
来場者数 (取組期間)	19.4万人 (延べ約2ヶ月間)	28.55万人 (延べ約1ヵ月間)	16.63万人 (延べ約半月間)	47.3万人 (延べ約5ヶ月間)
パートナーズの取組み	約18.9万人	約28.4万人	約15.8万人	約36.6万人
水都大阪2015（プレ事業）	—	—	—	約10.7万人
中之島にぎわいの森	約5千人	約1.5千人	約8.3千人	—

～水と光のまちづくり推進～

■推進組織の構築

【概要】
・水と光の魅力で世界の都市間競争に打ち勝つ「水と光の首都大阪」の実現に向け、民主導の事業推進組織とその活動を支える府市合同組織を構築。
・水都大阪パートナーズの活動に対する基本的な人や資金は、府・市・経済界で下支え。評価システムを導入し、PDCAを徹底。

【取組状況】
平成25（2013）年度から、民間と行政のパートナーシップのもとで新たな展開を図るため、府、市、経済団体等で構成する「水と光のまちづくり推進会議」を設置するとともに、同会議のもと次の組織を構築し水と光のまちづくりを推進
・民主導の都市魅力創出・まちづくりの推進組織である「水都大阪パートナーズ」（事業期間 H25～H28年度）
・「水都大阪パートナーズ」の活動を支援する府市合同組織「水と光のまちづくり支援本部（水都大阪オーソリティ）」
・「水都大阪パートナーズ」の活動を評価する「水と光のまちづくり推進会議 事業評価委員会」

【課題】
・民間投資の拡大につながる推進体制の強化

【今後の方向性】
・現行体制での取組期間（平成28年度末）終了後の事業推進体制のあり方について、公民の適切な役割分担のうえ、中長期的な事業展開を踏まえた推進体制を構築する。

■水辺の賑わい創出

【概要】
・「水都大阪2009」において構築されたノウハウやネットワークの継続、継承、発展を目指して、水の回廊を中心とした水辺空間活性化事業等の展開をはじめ、水都大阪の特色を活かした水辺の魅力向上や賑わい創出による、大阪の都市魅力の向上を図る。
・集客イベントの実施にあたっては、民間企業や市民からのプログラムの公募を通し、新たなビジネスモデルや市民プログラムの構築につなげるとともに、舟運事業者とも連携した水辺の賑わいの創出を図る。

【取組状況】
・水都大阪フェス（2012、2013）を開催し、中之島公園周辺をはじめ、中之島ゲート、水の回廊各拠点において、各種イベントプログラムを実施
・中之島公園エリアにおける日常的な水辺の賑わいづくりに向けた社会実験を実施（26（2014）年度）
水の都の夕涼みと題しオープンカフェやグリーンマーケット等を長期間開催（3ヶ月間）
・シンボルイヤー企画「水都大阪2015」に向け機運醸成を図るため、中之島公園や道頓堀川周辺でプレイベントを実施（26（2014）年度）

【これまでの成果】
民主導による水辺の魅力向上、賑わい創出に資する取組みを展開
・中之島公園における賑わい日常化の浸透（H26年度に実施した「水の都の夕涼み」では約17万人を集客）
・水都大阪における新たなシンボル拠点となった中之島GATEに賑わい集客施設「中之島漁港」を招致
（平成27年2月18日にオープン）
（中之島漁港来場者数 H27.2月：44,000人、3月：63,500人、4月：21,500人、5月：24,100人）

【課題】
・中之島公園や中之島GATEなどの水辺拠点での賑わい創出から、水の回廊・水の東西軸全体への賑わいの拡大

【今後の方向性】
・各拠点の個性を活かした賑わいづくりを推進するとともに、拠点間の連携を支援
・インバンドにも配慮した水都の観光地化を促進
・水辺に関わる人や企業が、主体的に水都大阪の取組みに参画する仕組みづくりを促進

■水辺の魅力向上

【概要】
都市魅力創造戦略に基づくまちづくりを進めるため、水の回廊を中心として、新たなシンボル空間を創出
・シンボル空間エリアの創出（中之島ゲート等の利活用に係る、調査・検討、整備）
・舟運の活性化と水辺整備（水の回廊（コリドール）や水陸の結節点の利活用について、調査・検討、整備）
・「中之島にぎわいの森づくり」の整備

【取組状況】
■シンボル空間エリアの創出
西天満若松浜
・中之島にぎわいの森づくりの一環として、府が整備したみどりの空間と一体となるにぎわい施設を誘致
・有名アーティストとのコラボレーションによるオープニングイベントを開催
中之島GATE
・新たな水辺のシンボル空間の創造に向け、中之島GATEに劇団の招聘し野外演劇を実施
・にぎわい施設の誘致により継続的にエリア魅力を向上

■舟運活性化・水辺整備
・水都大阪パートナーズと水と光のまちづくり支援本部（水都大阪オーソリティ）が連携し、関係行政機関や舟運事業者が参加する舟運活性化ワーキングを組織し課題を整理
・水都大阪パートナーズの企画と連動した各種舟運企画を商品化
例：水都大阪フェス2013と連携したシャトルクルーズ、ラバーダッククルーズ
船と飲食を組み合わせた企画（水辺バルや食事つきクルーズ）
中之島GATEへ誘致した劇団の活動と連動したナイトクルーズ など
・府市が、水の回廊を構成する堂島川、木津川、道頓堀川、東横堀川沿いで遊歩道や船着場等のインフラ整備
や水辺のライトアップなど景観整備を推進

■中之島にぎわいの森
・水辺の回遊性向上に向け、堂島川沿いで船着場のある拠点にシンボルツリーを植樹し、イルミネーションで装飾（八軒家浜、中之島バンクス、ほたるまち、西天満若松浜）
・みどりを活かしたにぎわいづくりとして、シンボルツリーの植樹と連動した有名アーティストとのコラボレーションイベントの開催
・西天満若松浜に誘致したにぎわい施設と一体となった新たなみどりを空間を整備するとともに、有名アーティストとのコラボレーションによりオープニングイベントを開催（再掲）
・水の回廊を構成する川沿いや水辺拠点（中之島GATE）の緑化を推進

【これまでの成果】
・水都大阪における新たなシンボル拠点を創造（西天満若松浜、中之島GATEのオープン）
・水の回廊における、舟運事業・水辺拠点の活性化
（舟運の利用者数 H24年度：約42万人 H25年度：約50万人 H26年度：約60万人）

【課題】
・水と光とみどりが調和した水辺の景観整備や西天満若松浜及び中之島GATEに続くシンボル空間エリアの創出
・水都大阪パートナーズと舟運事業者や旅行者の連携強化を図るなど、さらなる舟運の活性化の推進

【今後の方向性】
・舟運や遊歩道、光の連続性の推進による水辺の回遊性向上
・シンボル空間エリアの創出に向け、各拠点への民間活力の投入促進
・水都大阪全体を体感できる舟運商品の開発

～水と光のまちづくり推進～

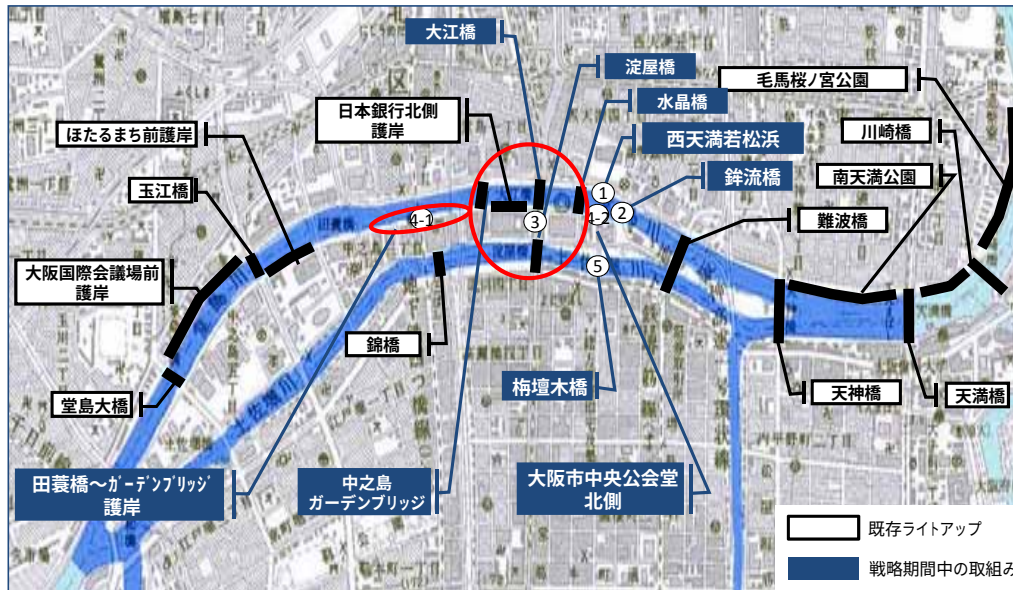
水と光の首都大阪の実現に向け、魅力的な光の景観の創出を図るとともに、毎年開催される光の各種イベントのネットワーク化を推進

<魅力的な光景観の創出等>

◇水都大阪を構成する水の回廊において恒常的な光景観を演出

- ①誘致した民間事業者による水辺のライトアップ [H25完成]
- ②鉾流橋のライトアップ [H26完成]
- ③中之島がーデンブリッジ他3橋（大江橋・淀屋橋・水晶橋）の既存ライトアップ改修 [H25～H27]
- ④堂島川左岸（田蓼橋～中之島がーデンブリッジ）、大阪市中央公会堂北側のライトアップ整備予定 [H28年度工事着手予定]
- ⑤梅壇木橋のライトアップ整備予定 [H28年度工事着手予定]

橋梁・護岸ライトアップ整備状況（堂島川・土佐堀川周辺）



鉾流橋ライトアップ



中之島がーデンブリッジライトアップ改修

民間事業者による水辺のライトアップ
(西天満若松浜)

【中之島周辺の水辺における光景観の広がり状況】

橋梁ライトアップ H23 10橋梁 ⇒ H27.5月時点 12橋梁
※整備予定（橋梁1ヶ所含む）（護岸2区間）

水辺拠点のライトアップ 西天満若松浜に誘致した水辺の賑わい施設を民間事業者が
ライトアップ

<光のイベントのネットワーク化>

2013年から、「OSAKA光のルネサンス」と「御堂筋イルミネーション」をコアプログラムとし、大阪市中心部各エリアで開催される民間主催の光プログラム（エリアプログラム）と一体となり、「大阪・光の饗宴」として実施。

大阪・光の饗宴2014コアプログラム



御堂筋イルミネーション



OSAKA光のルネサンス

世界最大級の
クリスマスツリーWelcoming あべてん
「光の音色」2014大阪・ミナミ光マッセ!!
「光の杜」中之島ウォーター
ファンタジア光のワンダーランド
「Happy X'mas ツリー」縁起物イルミネーション
(戎橋商店街)光の水都
ルネサンスクルーズメインツリー
「シロナガスクジラ」街中がスノーマン! / トワイライト
ファンタジー (大阪ステーション
シティ時空の広場会場)天満・桜ノ宮
光りのエレガンス400年の時を超え、大阪城が光り輝く
大阪城3Dマッピング
スーパーイルミネーション

【水と光の首都大阪の魅力の発信】

大阪府・大阪市・経済団体等で「大阪・光の饗宴実行委員会」を組織して事業を実施するとともに、民間主体のプログラムとも連携を図り、大阪全体の魅力を発信する体制整備を図った。

・連携する民間プログラム H25 8団体 (10プログラム) ⇒ H26 10団体 (11プログラム)
・来場者数 H25 517万人 ⇒ H26 886万人
・経済波及効果 H25 284億円 ⇒ H26 487億円

～水と光のまちづくり推進～

■光のイベントのネットワーク化

【概要】

大阪のシンボルである御堂筋のイチョウ等を光で輝かせることにより、世界に類を見ない景観を創出することを目的としている「御堂筋イルミネーション」と中之島の魅力を発信し国内外から多くの人々を招致することを目的としている「OSAKA光のルネサンス」をコアプログラムとし、府内各エリアで展開する民間主体の光のプログラムが一体となり、大阪の特性を活かした夜間景観の創出を通じて、魅力と賑わいに満ちた大阪の実現に取り組む。

【取組状況】

- 平成23(2011)年
 - 御堂筋イルミネーションを、淀屋橋交差点～新橋交差点まで延伸し、約1.9 kmで実施。
(H21は淀屋橋～船場中央3丁目約1.2km、H22は淀屋橋～北久宝寺町3丁目約1.4km)
 - OSAKA光のルネサンスを、大阪市役所周辺～中之島公園剣先を会場として実施。
- 平成24(2012)年
 - 「御堂筋イルミネーション」と「OSAKA光のルネサンス」が一体となり、大阪府・大阪市・民間からなるOSAKA光のルネサンス実行委員会として実施。
- 平成25(2013)年
 - 「OSAKA光のルネサンス」と「御堂筋イルミネーション」をコアプログラムに、大阪市中心部の8つの各エリアで開催される民間の自主的な光プログラム（エリアプログラム）と連携し、「大阪・光の饗宴」として実施。
- 平成26(2014)年
 - 新たに府市共同で「御堂筋イルミネーション」を新橋～難波西口まで延伸し、約3 kmの世界最長の光の道として実施。また、「最も多く街路樹にイルミネーションを施した通り」として、世界記録に認定（H27.1.9）。
 - エリアプログラムとして参加する民間の自主的な光プログラムを10団体へ拡充するとともに、大阪ならではの「食」やショッピングを楽しみながら回遊性を向上する取組みとして「OSAKA光の饗宴パル」を実施。
- 平成27(2015)年
 - 新たに府市共同で「御堂筋イルミネーション」を阪神前～大江橋北詰まで延伸することにより、全長約4 kmの御堂筋全体で事業を実施予定。
 - エリアプログラムの参加対象エリアの大阪府域への拡大や、観光局と連携したインバウンドの強化などにより、さらなる大阪の都市ブランドの向上と観光誘客促進を図る。

【成果】

- 大阪府・大阪市・民間団体等が連携することにより、都市魅力の向上や観光誘客を促進。
(H26年度実績：来場者数約886万人、経済波及効果約487億円)

OSAKA光のルネサンス来場者数推移

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
来場者数	約309万人	約301万人	約201万人	約246万人

御堂筋イルミネーション来場者推移

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
来場者数	約188万人	約147万人	約95万人	約269万人

エリアプログラム来場者推移（民間主催事業）

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
エリア数			8エリア	10エリア
来場者数			約221万人	約371万人

大阪・光の饗宴（上記3つの合計）

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
来場者数			約517万人	約886万人

【課題】

- 都市ブランド向上に向けたプログラムの魅力強化
- 多くの集客等を活かしたビジネス創出など、一層の民間投資の促進

【今後の方向性】

- プロモーション連携・強化や回遊性の向上、インバウンド受入環境向上等の取組推進
- 観光商品造成やビジネス展開など、民間投資誘発に向けた官民連携の強化

2011年度

OSAKA光のルネサンスと御堂筋イルミネーションは、府・市がそれぞれに事業を実施

OSAKA光のルネサンス（市主体）

事業開始：2003年～
時期：12月1日～25日
場所：大阪市役所～中之島公園剣先
主催：OSAKA光のルネサンス実行委員会
(構成：大阪市・経済界等)

御堂筋イルミネーション(府主体)

事業開始：2009年～
時期：12月14日～1月22日
場所：御堂筋淀屋橋交差点～新橋交差点
主催：大阪府

大阪ミュージアム戦略プランに基づくイベントミックスの一環として、
民間主催イルミネーションとの連携によるイルミネーションイベントの一体感創出と
回遊性の向上を図るイルミネーションフォトコンテスト企画をスタート



大阪市内の主要イルミネーション（民間主催）

大阪府内のイルミネーション

2012年度

御堂筋イルミネーションとOSAKA光のルネサンスを、府・市・経済界による実行委員会のもとで
一体的に事業展開

OSAKA光のルネサンス（府・市主体）

- 中之島エリア（OSAKA光のルネサンス）
時期：12月1日～30日 場所：大阪市役所～中之島公園剣先
- 御堂筋エリア（御堂筋イルミネーション）
時期：12月14日～1月20日 場所：御堂筋淀屋橋交差点～新橋交差点
主催：OSAKA光のルネサンス実行委員会（構成：大阪府・大阪市・経済界等）

イルミネーションフォトコンテスト



大阪市内の主要イルミネーション（民間主催）

大阪府内のイルミネーション

2013年度以降

御堂筋イルミネーション、OSAKA光のルネサンス、民間主催の光のプログラムが連携し、
「大阪・光の饗宴」として一体的に事業を展開

大阪・光の饗宴

コアプログラム

OSAKA光のルネサンス、御堂筋イルミネーション
主催：大阪・光の饗宴実行委員会(構成：大阪府・大阪市・経済界等)

広報プロモーション連携

企画連携（回遊性）

エリアプログラム

大阪市内の各エリアで行っている
民間主催の光のプログラム
2013年度 8エリア 14年度 10エリア

●OSAKA光の饗宴グルメパスポート2015予定

●イルミネーションフォトコンテスト



大阪府内のイルミネーション（民間主催）